

令和元年度 自己評価表（報告）

愛媛県立松山商業高等学校（全日制）
学校番号 (25)

教育方針	個人の尊厳を重んじ、真理と正義を希求する人間の育成に努め、新しい職業観のもとに豊かな情操を身に付け、勤労と責任を重んずる資質を養い、国家社会の有為な形成者として創造性と実践力に富む心身ともに健全な商業人の育成を期する。	重点目標	地域社会に根ざした商業教育の推進 － <u>地域を活性化させる</u> 人材の育成－
------	---	------	---

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
生徒指導	学校生活の基本の徹底	さわやかな「挨拶」ができる生徒100%を目指す。	B	生徒94%、教職員95%、保護者91%がさわやかな「挨拶」ができていると解答している。	挨拶の大切さを生徒に理解させ、自主的に挨拶できる生徒を増やす。
		端正な身だしなみができる生徒100%を目指す。	A	生徒の99%が、高校生らしい身だしなみができていると解答している。	身だしなみの重要性を理解させ、自ら身だしなみを整えることのできる生徒を増やす。
		皆勤率50%以上、年間出席率99.0%以上を目指す。	B	皆勤率 63.6%、年間出席率98.8%で目標の達成率はほぼ達成できた。（2学期末）	健康管理に努めるよう指導するとともに、教育相談体制を強化し心のケアにも努める。
		清掃の意味を理解し、積極的に取り組む生徒100%を目指す。	C	生徒の94%が真面目に取り組んでいると解答しているが、教職員の評価は68%であった。	清掃の意味を考えさせ具体的な清掃方法を身に付け率先して活動できる生徒を増やす。
生徒指導	交通ルール・マナーの遵守	自転車のヘルメット着用率100%、重大交通事故0件を目指す。	B	98%の生徒が通学時ヘルメットをきちんと着用していると回答している。軽微な交通事故は複数発生したが、重大交通事故は0件であった。	重大事故こそなかったが、車との接触事故や転倒事故は15件発生しているため、自分の命は自分で守ることの大切さを理解させると共に交通ルールとマナーの厳守を徹底する。
		豊かな人間性と思いやり	A	いじめ発生件数0件、又は早期解決 100%を目指す。	HRでの様子やアンケートなどによる早期発見に努めいじめ根絶に努める。さらに、ネット上での問題が発生しないよう、情報モラル教育に努める。
特別活動	ボランティア活動の活性化	ボランティア活動に積極的に参加する生徒100%を目指す。	B	ボランティア活動に積極的に参加した生徒65%と参加率はやや低い、「門前祭り」、「三津浜花火大会」等に積極的に参加しており、地域からの評価は高い。	ボランティア活動の意味を理解させ、さらに自ら積極的に取り組める生徒を増やす。
		学校行事の活性化	B	学校行事に主体的に取り組む生徒100%を目指す。	学校行事に主体的に取り組んだ生徒は93%で、活気ある学校行事を行うことができた。
	部活動の活性化	B	四国大会出場12部以上、全国大会出場10部以上を目指す。	四国11部、全国7部の出場であったが全体として活発な部活動が展開された。	新体育館の完成とともに生徒の活動意欲と教員の指導力の向上に努める。
	体験活動の充実	A	乳幼児、高齢者、地域の方々との交流活動における充実感100%を目指す。	愛媛県の「地域連携心豊かな高校生育成事業」の一環として交流体験学習を行い、参加した2年生が充実感を得ている。地域からの評価も高い。	生徒がさらに充実感が得られるよう、主体的に交流活動での体験が生徒の自己啓発につながるよう工夫する。
学習指導	体験活動の充実	ビジネス実習・現場実習・1000日実習における達成感100%を目指す。	A	実習を行った全ての生徒が意欲的に取り組み、達成感を得ている。事業主からの評価も高い。	実習での学びが学校生活や進路実現に生かせるよう事後指導に努める。
		本校と協働活動を行った地域コミュニティの数10以上を目指す。	A	地域ビジネス科の担当者が中心となり、地域コミュニティとの連携を深めるとともに、生徒は地域行事等に積極的に参加している。	自主防災組織の活性化や様々な地域課題の解決に向けた新たな活動など、地域コミュニティとの連携をさらに深めたい。
		地域イベントに主体的に参加した生徒の延べ人数100人以上を目指す。	A	各種地域イベントには、延べ人数220名の生徒が参加しており、目標としていた延べ人数を大きく上回った。	今後も地域社会に根ざした教育を目指し、全校生徒が各種イベントに参加できるよう計画的に行っていきたい。
	教科指導の充実	授業の内容がよく理解できる生徒85%以上を目指す。	A	教員はわかる授業の実践の心がけ、日々指導方法を工夫しており、86%の生徒が授業の内容がよく理解できると回答している。	や電子黒板、Wi-Fi等のICT機器の活用した授業研修会さらに充実させたい。今後は、タブレット等を利用した授業についても検討したい。
授業に積極的に取り組む生徒90%以上を目指す。		B	90%の生徒が授業に積極的に取り組んでいると回答しており、充実した授業が展開できている。	アクティブラーニングの授業を展開し、生徒が主体的、対話的で深い学習につながるよう研修会の確保に努める。	
進路指導	進路指導の充実	各種資格取得・検定合格者の増加を目指す。	A	多くの資格検定試験で、数値目標を上回った。微増ではあるが、全商検定試験1級3種目以上合格者は、過去10年間で最高であった。	資格取得に対する生徒の意欲を今以上に喚起するとともに、補習授業等の充実を図り、合格者の増加を目指したい。
		進学・就職において希望する進路実現100%、地元企業への就職率90%以上を目指す。	A	就職は内定率100%を達成した。地元企業への就職についても97%であった。進学についても国公立大学、私立大学等、おおむね希望する進路実現を達成した。	キャリア教育の充実や学力の向上に努め、生徒一人一人に対応した進路指導に努める。

※ 評価は5段階（A：十分に成果があった B：成果があった C：ふつう D：少しの効果があった E：成果がなかった）とする。